

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 7 月 1 日 作成

事務事業名		農産物地産地消推進事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連		<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連		<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合 計画 体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	産業振興部		課長名	可徳 精至	
	施策	11	農業の振興			所属課	農政課		担当者名	木永 和博	
	基本事業	32	関係機関との連携の強化			所属班	農業振興班		(内線)	1165	
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	21.4.10「経済危機対策」に関する政府・与党会 議、経済危機対策関係会議合同会議決定		成果優先度評価結果	-	
	1	6	1	14	11421				コスト削減優先度評価結果	-	
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)						

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・国の「経済危機対策」のひとつである「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」を活用し、市内農産物の地産地消を推進するため、朝市開催に必要な備品の購入及びサイン看板を整備する。 ・国のH21年度補正予算で措置された「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」を活用し、国の「活用事例集」に基づく事業を計画するものである。 ・地産地消では、安全で安心な農畜産物の取り扱いがポイントとなっており、このことが消費者(市民)のニーズの高まりに繋がることから、年々増加している。
【業務の流れ】	①実施計画書の提出(市→県→国) ②施行伺い ③入札 ④契約 ⑤納品・検査・支払い ⑥実績報告の提出(市→県→国)
【主な予算費目】	①需用費：238千円(コンテナ20個、サイン看板等)、②備品購入費：862千円(パラソル10セット、テーブル5台)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	平成21年5月16日に開催された「こんにちは熊日です」のフォーラムでパネリストから朝市の開催について発言がなされた。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
①のぼり10本セット、サイン看板2枚、エコバック600枚 ②パラソル・テーブル10セット	
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 ⇒ア:備品を利用した回数	(単位) 回
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・農家 ・市民	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 ⇒ア:農家戸数 戸 ⇒イ:人口 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・地産地消をPRすることができる。 ・地元的新鲜で安全な産品を安く買うことができる。	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 ⇒ア:元気で暮らし満足と答えた市民の割合 % ⇒イ:
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	回			3	3			
	イ								
⑤ 対象指標	ア	戸			672	672			
	イ	人			54,000	54,000			
⑥ 成果指標	ア	%			100	100			
	イ								
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円			900	900		
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	一般財源	千円			200	24			
	(A) 事業費計	千円	0	0	1,100	924	0	0	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人件 費	正規職員従事人数	人			2	1			
	延べ業務時間	時間			24	20			
	(B)人件費計	千円	0	0	96	80	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	1,196	1,004	0	0	0	

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
(期間限定複数年度のみ記載)
0
0
0
0

事務事業名	農産物地産地消推進事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

・「元気市」報告書を見ると定期的な開催となっていないので、集客するためには時間、日時、場所の定着化が必要だと感じる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

区や市と連携をとりイベント等に参加し知名度を上げていく。また、他市町の同じようなグループと連携をとり同時開催していくことで盛り上がりも期待できる。

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			△
	低下			△

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

広報、合志市HP、チラシ、口コミ等で知名度を上げていかなければならない。